

- 1 派遣期日 令和5年11月10日(金) ～ 11月10日(金)
- 2 派遣先 学校名(会場名) 京都府八幡市立有都小学校
所在地 京都府八幡市内里北ノ山31番地
<https://www.kyoto-be.ne.jp/yuuto-es/cms/>

3 研修内容

(1) テーマ GIGAスクール構想の実現と社会科等の授業デザイン

(2) 内容

GIGAスクール構想の本質的な取り組みをさらに進めるべく、先進的な授業実践を参観することを通して、社会科等の授業デザインの新たな視点を見出す。

(3) 6年1組(坂本良晶教諭)授業参観

1校時 国語 **有都広報プロジェクト**

広報誌の6年生への原稿依頼(広報委員の保護者より依頼)について、内容を話し合った。

内容の項目(①座右の銘②趣味③一言)が決まると、早速「Canva」で共同編集を始めた。



2校時 算数 **拡大と縮小 10分の1の世界遺産を作ろう**

6つのチーム(A～F)に分かれて再現する建造物を決定。寸法(縦、横、高さ)を「Google」で調べ、グループで決めた建造物の寸法を計算し、「Minecraft」で再現した。グループは3・4人で構成し、役割分担(Googleで検索、寸法の計算、Minecraftで建築)が自発的に起こり、プログラミングの思考を働かせながら活発に話し合いながら課題に取り組む姿が素晴らしかった。活動を始めると、「10分の1」では難しい建造物があるという子どもの声が上がった。そこで縮尺だけでなく「拡大した建造物」に変更することも可とした。自分たちの設定したゴールに向けて、高い集中力で活動している姿が印象的だった。

グループ名	建造物
Aチーム	5分の1のエッフェル塔
Bチーム	4倍の金閣寺
Cチーム	5倍のモアイ像
Dチーム	2倍の原爆ドーム
Eチーム	2倍の法隆寺
Fチーム	1.5倍の太陽の塔



3校時 社会 **歌川広重の功績とは？**

問いをもち、動画の視聴でインプットしたものを全体で共有し、最後に各自がアウトプットするという授業構成だった。

まず、広重の絵とゴッホの絵を提示し「何か疑問はありませんか？」と問い、子どもたちが問いをもった。次に、今日の課題を確認し、「NHK for school」の『歴史にドキリ』を視聴した。このとき、ノートにメモをとる子もいれば、タブレットでメモをとる子もいた。さらに、番組構成からポイントが出るタイミングを知っているので、タブレットで撮影している子もいた。動画視聴の後には、全体で一斉に確認しながらまとめていた。最後に、各自が歌川広重の功績について



「Microsoft Flip」に動画でアウトプットする活動に移行していた。スピーチ原稿は、ノートに書く子もいれば、タブレットのメモにまとめる子もいた。「Teams」には資料があらかじめ添付されているので、それを素材にしてFlipの撮影画面に貼り付けていた。

歴史学習の授業の流れに児童が慣れていること、毎時間のゴールが「Flip」によるアウトプットになっていることで、個別最適な学習が展開されていた。とにかく子どもたちのアウトプットの量が多く素晴らしかった。撮影後は、友達の投稿を見たり、コメントをしたり協働的な学びが展開されていた。



4校時 講話

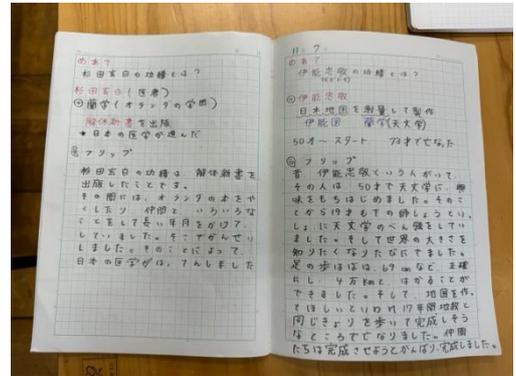
教室で授業実践と成果物を紹介していただいた。

【社会科の授業デザイン】

毎時間のゴールが「Microsoft Flip」のアウトプットになっている。パフォーマンス課題の成果物として、評価をしやすい利点もある。

【Canvaを使った授業実例】

- ・共同編集をする。
- ・画像編集をする。
- ・学校行事を新聞にする。



5校時 総合 **YAWATAプロジェクト**

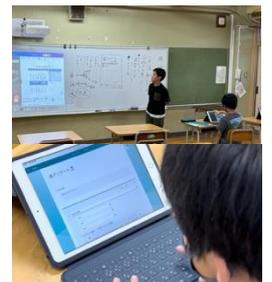
授業始め、坂本教諭が「八幡市を本物通りに再現しても、Googleマップで事足りる。そうではなくて、よりクリエイティブな世界を考えて欲しい。」と投げかけていた。これは、プロジェクトの目的が課題解決学習であり、その課題が観光資源はあるのに「八幡市観光客少なすぎ問題」であることに起因していた。

坂本教諭の言葉を受けて、「Canva」の計画表にグループで本時に何をするのか記入し、「Minecraft」で各グループの八幡市の観光資源を作成していた。グループでの共同作業が算数の授業と同じように活発に行われた。授業の最後は「Canva」でふりかえりを記入していた。



6校時 委員会（放送委員会） **11月の企画について**

- ・アンケート 1～3年生は紙に記入 4～6年生は「Microsoft Forms」で回答。
- ・アンケート作成、ポスターデザインは「Canva」を使用。
- ・「Forms」のアンケートは、QRコードを「Canva」に貼り付けて実施。



4 感想

ICTを効果的に活用することで、子どもたち全員が学習活動に前のめりになって取り組んでいることが素晴らしいと感じた。特に「Canva」というツールはとても有効であると感じた。

また、子どもたち同士がポジティブな声かけを自然に行いながら、クリエイティブな発想でアウトプットをしている姿が印象的だった。それは、担任である坂本教諭自身が、日頃からインプットとアウトプットの両輪で回し続けている方だからかもしれない。日常的にGIGAスクール構想の本質にせまった授業実践をしていることに、改めて尊敬の念を抱いた研修となった。

今回学ばせていただいたことを、本校の子どもたちにも全力で還元したい。私自身もICTに軸足を置き、学びと実践を両輪で回していく教師でありたい。